

1 総説

(1) 目標

① 生活科の目標 学習指導要領 平成29年告示 文部科学省(小)

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

(2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。

(3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

② 総合的な学習の時間の目標 学習指導要領 平成29年告示 文部科学省(小・中共通)

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(4) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

(5) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(6) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

(2) 江田島市教育大綱 ～人が育ち、輝くまち～ 令和2年度～令和6年度 江田島市 より抜粋

(4) 里海教育

施策の目標(目指す姿)

自然に親しみ、知的好奇心や探究心が生まれ、生命を尊び、自然を大切に、郷土を愛する豊かな心が育っています。

施策の方向性 ア「里海」を教育資源とした特色ある教育の推進

さとうみ科学館において、「里海」を教育資源とした本市ならではの「特色ある教育」を推進し、学校教育・社会教育の両面から、幅広い年齢層を対象とした自主的・継続的な理科教育・環境教育の充実に努めます。

自然体験活動や調査・研究活動(科学研究)などを通じて、ふるさとの自然に対する知的好奇心や探究心、実感を伴った豊かな自然観を育成し、問題解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てます。

また、生命を尊び、ふるさとの自然を大切に、郷土を愛する豊かな心を育む教育活動を推進します。

(3) 能美中学校区

① 研究テーマ 【小中連携教育の目標 ～ふるさとを愛し、ふるさとに学び、ふるさとに貢献する児童生徒の育成～】

児童生徒の探究的な学びが生まれる授業の創造 ～小中9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間の在り方～

② 生活科の目標

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。	(3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

③ 総合的な学習の時間の目標

PBL型の学習の手法を取り入れ、探究的な見方・考え方を働かせ、地域の教育資源を生かした総合的な学習を行うことを通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
地域の教育資源を生かした探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、地域の特徴やよさ、地域社会を支える仕組みとそれに携わる人々の思い、持続可能な社会を実現するための課題等を理解する。	地域社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ、目的に応じて表現する力を身に付ける。	地域の教育資源を生かした探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとするとともに、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら地域社会に参画、貢献しようとする態度を養う。

④ 小中9年間で育成したい資質・能力

主体性	自ら目標を設定し、その達成に向けて考え、判断し、探究活動に取り組もうとしている。
伝え合う力	探究的な活動を通して、異なる意見や他者の意見を受け入れ尊重し、協働して新たな価値を生み出そうとしている。
やりきる力	課題解決の過程においてあきらめず取り組み、最善解を導き出すことができる。

2 能美中学校区 生活科・総合的な学習の時間の内容

(1) 地域から学ぶ

低学年ではまず校区から、その後江田島市内に視野を広げ、地域の自然(里海)、環境、歴史、産業、福祉や安全・防災(行政)、文化、芸能など幅広い資源から課題を立て、探究的な学習を行う。その過程で他地域との比較も取り入れる。地域の豊かな自然や様々な施設、地域を支える人々と直接かかわり、他地域と比較しながら考え、そこから学んだことを表現、発信する活動を通して、地域を持続可能な社会として発展させていくための課題を理解し、自ら地域社会に貢献しようとする意欲を育成する。

(2) 生き方学習「Catch Your Dream!」「自分タイム」

キャリア教育の視点をもって、系統的に「広島県の15歳の生徒に付けさせたい力」のうちの2点「自己を認識する」「自分の人生を選択する」力を育成する。自己の生き方につながる社会体験学習(職場体験、地域ボランティア等)を通して、影響を受けた人・もの・ことを考えることで、自己を見つめる、自己を語る、身の回りや地域・社会の課題を捉えて自分事として考える、将来の生き方を見据えて卒業後の進路を考える、等の活動をスパイラルに繰り返し、現在や将来について真剣に考え、生きがいのある生活を実現していこうとする態度を育成する。

(3) 自己表現力の育成

(1)(2)の過程で、「広島県の15歳の生徒に付けさせたい力」3点目「自己を表現する」力を系統的に育成する。目的に応じて段階的に新聞、レポート、パンフレット、スピーチ、パワーポイントによるプレゼンテーション、ポスターセッション、等の表現の機会を設定し、個やグループで学んだことを発信する学習活動を通して、デジタル機器を活用するスキルや、コミュニケーション能力、言語やそれ以外の方法による豊かな表現力を育成する。

※(1)(2)(3)は別々に扱うのではなく、まとまりによって2つ、または3つ同時に扱うものであり、また、教科で付けた力を関連付けて、横断的に編成する。